

羽ばたけ 大空へ

財団新聞

編集・発行／公益財団法人 鹿屋体育大学 体育・スポーツ振興教育財団 〒891-2393 鹿屋市白水町1番地 鹿屋体育大学内 0994-46-4827(直) 編集兼発行人 風呂井 敬

第74回 全日本体操種目別選手権種目別 体操競技部 市口大和さん あん馬で優勝!



昨年12月10～13日に群馬県高崎アリーナで第74回全日本体操個人総合選手権と兼ねて開催された第74回全日本体操種目別選手権において、鹿屋体育大学体操競技部の市口大和さん(スポーツ総合課程4年、清風高等学校)が種目別あん馬で優勝しました。市口さんは「優勝することができて、とてもうれしい気持ちです。多くの応援やサポートがあつたの優勝だと思っています。ワールドカップ等の派遣の目安となる点数に0・

2届かなかったことに悔しさも感じますが、優勝できたことは自信に繋がりました。多くのご声援ありがとうございました。引き続き村田先生の指導を受けながら、目標である東京オリンピックで金メダルを取るために日々努力します。今後とも応援をよろしくお願ひします」と話しました。市口さんは3月で同大を卒業しますが、卒業後も鹿屋に残り、村田憲亮監督のもと鹿屋体育大学で練習を続けます。大学4年間を振り返り「1・2年生の時はけがをして手術をしたりしてうまくいかなかったけれど、2年生の後半にあん馬1本に絞ると決めて、3・4年になって結果がでてきたという感じでした。

祝優勝! 鹿屋体育大学 全日本バレーボール大学女子選手権大会 4年ぶり4回目の優勝

昨年11月30日から12月6日まで東京で行われた「第67回秩父宮妃賜杯全日本バレーボール大学女子選手権大会」で、鹿屋体育大学女子バレーボール部(インカレ)において、鹿屋体育大学女子バレー部が粘り強いレシーブ、威力のあるサーブと切れのあるスパイクで東海大学を3-1で破り、4年ぶり4回目の優勝を果たしました。決勝戦で最も印象に残った選手に贈られるMIP賞は2年生の横山真奈さん(スポーツ総合課程、宮崎日本大学高等学校・宮崎)が受賞するなど、1・3年生が中心で出場した試合ではありましたが、「団結と貪



学長報告/前列左から山岡瑞希さん(スポーツ総合課程4年)、金本彩花さん(同4年)、松下雅雄学長、田部咲来さん(同4年)、2列目左から坂中美郷コーチ、若下侔紀さん(同4年、マネージャー)、大辻ゆうさん(同3年、マネージャー)、濱田幸三監督

欲」をテーマに掲げる同大学のバレー部らしく常に攻めの姿勢を忘れず、全員バレーでつかみとった「日本一」となりました。2回戦からの登場となった鹿屋体育大学は、3試合連続でストレート勝ち。準決勝では3連覇を狙う筑波大学を3-1で破り、落としたセットは全試合中2セットのみという圧倒的な強さをみせました。濱田幸三監督は「コロナ禍で思うように練習ができず、サーブとサーブレシーブだけやっていた。今年初めて遠征だったので、大会に入ってからチームができていくのかなと思っていましたが、試合を重ねるたびにどんどん成長していったと正直とても驚いています。4年生はコートに立っていないが、4年生が中心になってチームをつくら、今の4年生がいたからこそ優勝につながったと思っています。鹿屋市のみならず、大学関係者のみなさんに心から感謝申し上げます」とコメントした。今大会では別表の通り、多くの個人賞を同大学の学生及び監督が受賞しました。後日行われた学長報告の席で、松下雅雄学長は「動画サイトで試合を見させてもらいましたが、掲げたテーマ通り貪欲に、チームが同じベクトルに向かって団結しながら思い切ったプレーのびと印象を受けました。私が学長に就任した2016年が3年ぶり3回目の優勝だったので、今度は連覇

はコートに立っていないが、4年生が中心になってチームをつくら、今の4年生がいたからこそ優勝につながったと思っています。鹿屋市のみならず、大学関係者のみなさんに心から感謝申し上げます」とコメントした。今大会では別表の通り、多くの個人賞を同大学の学生及び監督が受賞しました。

個人賞			
	氏名	課程・学年	出身高校・所在地
最優秀選手賞	金本 彩花	スポーツ総合課程・4年	沼田高・広島
スパイク賞	横山 真奈	スポーツ総合課程・2年	宮崎日本大学高・宮崎
サーブ賞	横山 真奈	//	//
レシーブ賞	中島 咲愛	スポーツ総合課程・3年	宮崎日本大学高・宮崎
セッター賞	東 美奈	スポーツ総合課程・3年	宮崎日本大学高・宮崎
リベロ賞	大工園 彩夏	スポーツ総合課程・2年	鹿児島南・鹿児島
優勝監督賞	濱田 幸二		



大田区総合体育館で優勝後の記念撮影

思い出す。一日中テニスコートを走り回っていた頃を思い出す。学校が休みの日は朝9時から日が暮れるまで、コートに居座る。学校のある日も課題をこっそり昼休みに終わらせて、号令とともに教室を飛び出した。帰宅して、食パン一枚を口に詰め込んでまた飛び出す。そんな日々があった。朝から晩まで頭にあるのはアニスのことだけ。あの頃は1日でもコートでボールにさわれないと泣いて抗議し、雨の日は世界の全てを恨みだした。各競技のトップ選手が集まる本学の学生たちが、競技を制限された苦痛はあつたのではないだろうか。昔ある人に競技を一日休むと取り戻すのに三日かかるかと教えられた。コロナ禍での学生の悲鳴が至るところで聞こえてくるようだ。そんなある日、車に乗って帰宅していると、トンネルの中を一人黙々と走る若い男性を見かけた。翌朝には別の若い男性を見かけた。時世は大きく変わったが、スポーツ選手が挫けずひたむきに競技に向き合う姿勢はいつになっても変わらないのかもしれない。どんなときも自分と向き合い、真っ直ぐにゴールを迫っている。社会人になって、日々に追われると忘れてしまふものが多い。それでもわたしは思っている。昔の自分が思い出させてくれる存在が目の前にいるのだから。(T・M)

わかくさ

ミズノスポーツ振興財団は、スポーツの振興・普及を目指し、スポーツを愛する人たちを応援しています。

50th ANNIVERSARY

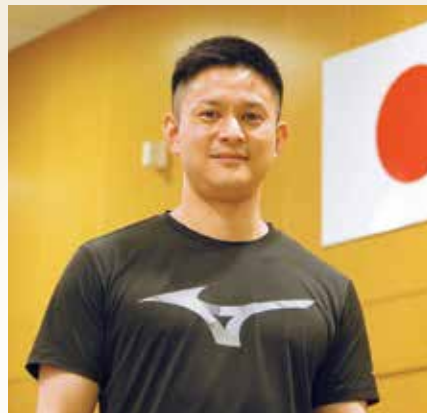
2020年 ミズノスポーツ振興財団は、創立50周年を迎えました。

公益財団法人 ミズノスポーツ振興財団

スポーツを愛するすべての人とともに

卒業生インタビュー

中学生時代の夢を実現！ アスレチックトレーナーとして活躍中



公益社団法人
日本ウエイトリフティング協会
アシスタントナショナルコーチ
25期生 細川 翔平さん

【プロフィール】

ほそかわ・しょうへい。1989（平成元）年12月13日生まれ。広島県福山市出身。2012年3月、鹿屋体育大学体育学部スポーツ総合課程卒業。2017年5月 University of Nebraska OmahaにてAthletic Training修士号を取得 卒業後、同年7月より公益社団法人日本ウエイトリフティング協会にてアシスタントナショナルコーチとしてユースからシニアまで各カテゴリーのナショナル選手に対し、国内合宿や国外試合でのサポート活動に従事。

体育大学の学生の大多数が「プロ選手になりたい」「オリンピックに出たい」等、子どもの頃からそのスポーツでトップに上る夢を持っていたと思う。しかし怪我に泣いたり、自分の限界を感じて夢を諦めてしまったりと現実の壁に阻まれてしまいうケースがほとんどだろう。それでも卒業後はスポーツに関わる仕事をしたいと望む人は少なくない。今回ご紹介する細川翔平さんもそんな一人だ。現在は日本ウエイトリフティング協会に所属するアスレチックトレーナー（AT）として、日本代表選手の海外遠征にも帯同している。

ATにあこがれたのは中学時代。Jリーグの下部組織でサッカーをしていた時に捻挫をしてしまった。その時にたまたま診てくれたATに心を動かされたという。弱気になつていた心に寄り添い、

励ましてくれたことがとてもうれしく、それが、その仕事にあこがれを抱くようになったきっかけだった。鹿屋体育大学に一般で入学し、フットサルやサッカーをしながら、2年生の時にはすでに学生トレーナーとして活動を開始。さらには大学教員の紹介でテキサスで仕事をしながらATについて現場見習いを2週間体験することになった。この経験が決定的だった。さらに夢が大きくなり、鹿屋を卒業したら米国に留学してATの資格を獲得したい」と決意したのだ。

しかしそんな事とは進まなかった。大学卒業後、留学資金調達のために1年間アルバイトをしながら英語の勉強に励み、ネブラスカ大学のオマハ校に進むはずだったが、しかし英語は好きで得意なはずなのに、

現地に行ってみたら「何を話しているのか全く分からない」状態。再び現地で英語の勉強とATになるための準備に明け暮れることになった。ネブラスカ大学のオマハ校には伝統的に日本からの留学生も多く、世界中から学生が集まっている。さらには周辺にアイスホッケーやバスケットボールの強豪校やチームがあつて豊富な実習経験を積むことができる。環境としては最高の場所だ。米国に渡ってから語学学校を経て準備期間のコミュニケーションカレッジでのAT体験授業、さらには大学院を卒業してATの資格を取るまでに細川さんは米国に4年間暮らしたことになる。「要領が悪くて人よりはかかる時間がかかってしまっただけ」というが、その時間は無駄ではなかったようだ。さまざまな人と出会いながら友情をはぐく

み、目標に向かって一つ一つの課題をクリアしながら努力を続ける粘り強さと探求心が細川さんの持ち味なのだから。実はその基礎は鹿屋で作られたという。鹿屋体育大学での良さは、東京に比べて情報量が少ない反面、これだと決めたことに集中してやり遂げることができたことであつたという。日本全国から集まった仲間、地方色や一人一人の個性に驚きながらも知見を広め自分なりの価値観を作りたいと励んだ日々、その環境の中で興味を持ったことを徹底的に行えたという自信が今の細川さんを支えている。その力がネブラスカに行つて一層磨かれたのだ。

さらに帰国後すぐに日本ウエイトリフティング協会に所属するという幸運にも恵まれた。「就職は縁と運とプラ

ス・アルファードですね。本当に幸運でした」と振り返る。ウエイトリフティングの競技の知識がほとんどないに等しかった状態で、いきなり振られた仕事が2017年6月に東京の大田区で行われた世界ジュニア選手権大会。右も左もわからぬまま、ただただ一生懸命見て覚え、資料で復習する日々を続け、徐々にその面白さのめりこんでいったという。さらにはその年の12月、米国アナハイムの世界選手権に通訳兼ATとして日本代表チームの一員として派遣されたのだ。「入ったばかりでこんな重責を担うなんて普通ではないことだよと皆に言われました」と細川さんはいうが、その大抜擢の裏には彼の仕事に対する真摯な態度があつたことと推察される。アナハイムでは二人の選手が目の前でメダルを獲得し、改めてサポートする喜びと感動を肌で感じたという。

アスリートが怪我をしないように本格的練習に入る前後のストレッチメニューを考えたり、傷害からの復帰の過程をサポートしたりと、アスリートに寄り添いながらサポートする重要な役割を担うAT。夢は、かつて中学生だった時に親身になってくれたATのように、携わる一人一人の選手に寄り添って自分が受け取ったATのバトンを次の人に渡せるようになることだという。 宮嶋泰子

山本さくらさん（シエルブルー鹿屋）が 現役引退の挨拶で学長表敬訪問

昨年11月8日に群馬県の前橋で開催された自転車全日本選手権トラック種目の女子500mタイムトライアルで優勝し、表彰式で突然の引退を表明した鹿屋体育大学の卒業生でリオデジャネイロオリンピック日本代表の山本さくらさん（3月までシエルブルー鹿屋旧姓塚越）が、現役引退の報告で松下雅雄学長を表敬訪問しました。

埼玉県立熊谷女子高校時代は陸上競技の七種競技に取り組んでいた山本さんは、自転車競技の実績がないため一般人試で鹿屋体育大学を受験して合格。黒川剛監督の指導の下で地道に練習を重ね、2年生の頃から頭角を現しはじめ、4年生ではキャプテンを務め、同大学大学院を卒業した2016年にCIELE BLEU KANOPYAと契約、同年リオデジャネイロ五輪のオムニアムに出場しました。

「女子高生からの一通の手紙から始まった」と、黒川監督は最初の出会いを振り返ります。陸上でオリンピックに行くことは難しいと思った山本さんは、小さいころから好きだった自転車競技で勝負して、世界で活躍する選手になりたいという夢を抱いて、監督に手紙を出したのだそうです。浪人覚悟でしたが、見事ストレートで合格。

しかし、結果がでるまで時間は要しました。「周りが強すぎて、最初の1年は思うようにいかず、泣きながら一人で黙々と練習をしていた。部員が遊びに誘っても乗ってこないし、自分に厳しくてまじめで本物志向、勉強も頑張っていた」と黒川監督。

山本さんは「自転車競技はゼロからのスタートでしたが、そういう人間もすごく成長させてもらえた場所が鹿屋体育大学でした。学生の人数が少ないので、先生方も全員の名前を覚えてくださり、大事にしてくださいました。

した。鹿屋の人たちはとても温かくて、県外出身でも関係なく一生懸命応援していただき、とてもうれしかったです。鹿屋はまさに第二のふるさと。オリンピックに行けたのも、すべて鹿屋で成長できたおかげです」と、引退に際し感謝の気持ちを述べました。松下学長からは「今まで培ってきたものがたくさんあるので、どのような形で生かしていけるか、後輩を育成していくということも視野にいれながらこれからも活躍してほしい」とエールの言葉が贈られました。



（左から）黒川監督、山本さん、松下学長、森司朗理事・副学長

kotobuki Driving School

自宅・アルバイト先 ← DIRECT! → 自動車学校 ← DIRECT! → 学校・寮

★その日のスケジュールに合わせて1時間おきにダイレクト送迎 忙しい学校生活の強い味方です!!

★提携会社による分割払いも月々5000円からご利用になれます

心豊かな車社会を願う
寿自動車学校

ご予約・お問い合わせ **TEL 0994-43-2627 E-mail: info@kotobuki-ds.jp**

〒893-0013 鹿児島県鹿屋市礼元1-13-30 県公安委員会指定教習所[技能試験免除]
ホームページURL <http://kotobuki-ds.jp>

Kubota 農業機械 株式会社 三木商会

<http://www.mizuho.kubota.ne.jp>

〒893-0009 鹿児島県鹿屋市大手町12番1号
TEL (0994) 43-4178
FAX (0994) 44-9371

【営業所】
鹿屋・高山・志布志・岩川・
牧之原・野方・垂水・大根占

汲取の御注文 浄化槽の管理

N

水質保全に 全力投球

鹿屋市許 株式会社 西日本浄化サービス

代表取締役 田中ふみ子
鹿屋市王子町4531-2
TEL (0994) 43-3425

あなたの町に、レモンガス

株式会社 **レモンガス** かこしま 鹿屋支店

鹿屋市大浦町11423番地1
0994-42-2181

鹿屋体育大学開講とともに36年北川淳一教授が3月で定年退職

「オリンピック選手がみんな大学の先生になれるわけではない。鹿屋体育大学で36年間楽しく過ごせて良かったと思っています」。開口一番、北川淳一教授はすがすがしい笑顔で言い切った。開学して初めて学生を受け入れた1984年から教壇に立ち、体操競技部の礎を築いてきた北川教授が3月で定年退職を迎える。24歳のときに体操競技でモスクワオリンピックの日本代表メンバーに選ばれたが、日本のポイコットで、幻のオリンピック選手になった。金メダル候補と期待されながら、出場することが叶わなかった悔しさをバネに代え、メダルと引き換えに得た教訓を学生に伝えるべく後進の育成に尽力した。「いまが一番いい」と言える自分であり続けるために、次のステージでの新たな挑戦にも余念がない。

19歳から体操を始めた北川。1964年の東京五輪とともに体操の日本代表だった小野喬さんと妻の清子さんが設立した日本で最初のスポーツクラブが家の近所にでき、小兒ぜん息を克服するためにオープン初日に母親に連れられて1番目に並んで会員第1号になりました。後に「ネコ」と呼ばれるほど着地が得意になったのは、そこにあるトランポリンで10年間

体幹を鍛えたおかげだと思っています。育大への誘いの国際電話が来てから、最初から携われるのであればやりがいもあると思つて帰国を決意しました。

北川 日本代表のポイコットで1980年のモスクワオリンピックに出られなくなり、その翌年からカナダの大学に留学してました。当時はまだ日本に体育学のドクターコースがなかったのですが、カナダで取るつもりでいたのですが、師匠である小野喬さんから開学する鹿屋体

育大への誘いの国際電話が来てから、最初から携われるのであればやりがいもあると思つて帰国を決意しました。

北川 オリンピック選手を育てるつもりでいましたが、実際にはとても苦労しました。体操競技には1部と2部があって、2部の1番下から15年ぐらいいかけて1部が上がって7位まで駆け上ったんですが、そこから上がれずスランプの時期もありました。2010年に2代目部長の松元正竹先生が定年退職されて部長を引き継ぎ、同年私の母校の順天堂大学から村田憲亮先生が来てくれました。村田先生は優秀で人間性も素晴らしく、昨年は全日本インカレ準優勝に導きました。私の後任はそろそろ卒業生にバトンを渡したいと思い、4月から鹿屋体育大学の卒業生の就任が決まっています。

北川 教授と課外活動に



令和3年1月撮影

プロフィール
きたがわ・じゅんいち。昭和30年9月25日生まれ。東京都出身。都立駒場高校から順天堂大学、同大学院卒業。主な競技成績は全日本インカレ個人総合優勝。アジア大会(タイ)種目別3種目優勝。ユニバーシアード(メキシコ)平行棒3位。中日カップ個人総合優勝。モスクワオリンピック日本代表選手ほか。1期生の学生を受け入れた昭和59年に鹿屋体育大学に赴任。体操競技部は部員1名から出発し、1992(平成4)年に1部昇格を実現させた。

北川 教授と課外活動に



4年生のキャプテン 杉野正亮さんから花束贈呈

外で言えば、NIFSスポーツクラブを築き上げたことです。公開講座の体操教室からスタートし、現在は200人を超える子どもたちが参加しているNPO法人に成長しました。体操競技部では指導実習の一環として、全員がNIFSに参加しています。

北川 体操競技で優勝するには着地は実はすごく重要なんです。自分で体験して身体でわかっていなかったので、大学の教員になったときに今度は学問を務める息子に雇ってもらっています。

北川 今後の予定は？
北川 一昨年、鹿屋市吾平に息子と娘がアイランドスポーツクラブキタガワを設立しました。社長を務める息子に雇ってもらっています。

北川 最初の頃は鹿屋の知名度がなくて、そんな田舎の大学に誰が行くのか？とよく言われました。でもやり方によってマイナスイメージを払拭できるんです。競技にしても学問にしてもトップに立つのは夢じゃない。いろいろと工夫をして頑張りましょう！

北川 最初の頃は鹿屋の知名度がなくて、そんな田舎の大学に誰が行くのか？とよく言われました。でもやり方によってマイナスイメージを払拭できるんです。競技にしても学問にしてもトップに立つのは夢じゃない。いろいろと工夫をして頑張りましょう！

北川 最初の頃は鹿屋の知名度がなくて、そんな田舎の大学に誰が行くのか？とよく言われました。でもやり方によってマイナスイメージを払拭できるんです。競技にしても学問にしてもトップに立つのは夢じゃない。いろいろと工夫をして頑張りましょう！

北川 最初の頃は鹿屋の知名度がなくて、そんな田舎の大学に誰が行くのか？とよく言われました。でもやり方によってマイナスイメージを払拭できるんです。競技にしても学問にしてもトップに立つのは夢じゃない。いろいろと工夫をして頑張りましょう！

北川 最初の頃は鹿屋の知名度がなくて、そんな田舎の大学に誰が行くのか？とよく言われました。でもやり方によってマイナスイメージを払拭できるんです。競技にしても学問にしてもトップに立つのは夢じゃない。いろいろと工夫をして頑張りましょう！

北川 最初の頃は鹿屋の知名度がなくて、そんな田舎の大学に誰が行くのか？とよく言われました。でもやり方によってマイナスイメージを払拭できるんです。競技にしても学問にしてもトップに立つのは夢じゃない。いろいろと工夫をして頑張りましょう！

北川 最初の頃は鹿屋の知名度がなくて、そんな田舎の大学に誰が行くのか？とよく言われました。でもやり方によってマイナスイメージを払拭できるんです。競技にしても学問にしてもトップに立つのは夢じゃない。いろいろと工夫をして頑張りましょう！

北川 最初の頃は鹿屋の知名度がなくて、そんな田舎の大学に誰が行くのか？とよく言われました。でもやり方によってマイナスイメージを払拭できるんです。競技にしても学問にしてもトップに立つのは夢じゃない。いろいろと工夫をして頑張りましょう！

北川 最初の頃は鹿屋の知名度がなくて、そんな田舎の大学に誰が行くのか？とよく言われました。でもやり方によってマイナスイメージを払拭できるんです。競技にしても学問にしてもトップに立つのは夢じゃない。いろいろと工夫をして頑張りましょう！

北川 最初の頃は鹿屋の知名度がなくて、そんな田舎の大学に誰が行くのか？とよく言われました。でもやり方によってマイナスイメージを払拭できるんです。競技にしても学問にしてもトップに立つのは夢じゃない。いろいろと工夫をして頑張りましょう！

北川 最初の頃は鹿屋の知名度がなくて、そんな田舎の大学に誰が行くのか？とよく言われました。でもやり方によってマイナスイメージを払拭できるんです。競技にしても学問にしてもトップに立つのは夢じゃない。いろいろと工夫をして頑張りましょう！

北川 最初の頃は鹿屋の知名度がなくて、そんな田舎の大学に誰が行くのか？とよく言われました。でもやり方によってマイナスイメージを払拭できるんです。競技にしても学問にしてもトップに立つのは夢じゃない。いろいろと工夫をして頑張りましょう！

第38代体育会会長に2年生の安次嶺心さん



安次嶺 大学生になってからもなごなを続けたいと思ったときに、最初に浮かんだのが鹿屋体育大学でした。小学校からずっと一緒の高校のなごなと部のあこがれの先輩が4年生にいて、どこまでも追いかけてきている感じがします。

安次嶺 正直に話すと、なかなか決まらなくて最後は前会長の太田さんと体育会に所属している2年生全員がじゃんけんをする事になりました。最後まで負け続けました(笑)。予想もしていなかった出

安次嶺 健康と安全が一番だと思うので、そこを徹底したうえで今年は大域の人たちとの交流ができる蒼天祭などの行事が備わっていると思います。

安次嶺 健康と安全が一番だと思うので、そこを徹底したうえで今年は大域の人たちとの交流ができる蒼天祭などの行事が備わっていると思います。

安次嶺 健康と安全が一番だと思うので、そこを徹底したうえで今年は大域の人たちとの交流ができる蒼天祭などの行事が備わっていると思います。

安次嶺 健康と安全が一番だと思うので、そこを徹底したうえで今年は大域の人たちとの交流ができる蒼天祭などの行事が備わっていると思います。

令和2年度定年退職教員の紹介

鹿屋体育大学を令和2年度3月31日付で定年退職される教員は以下の通りです。長年にわたる教育・研究へのご尽力、誠にありがとうございました。

氏名	所属・役職	本学の在職年数
北川淳一	スポーツ・武道実践科学系 教授	36年
赤嶺卓哉	スポーツ生命科学系 教授	31年
竹下俊一	スポーツ人文・応用社会科学系 教授	25年
濱田初幸	スポーツ・武道実践科学系 教授	19年
添嶋裕嗣	スポーツ生命科学系 教授	12年

課外活動団体紹介



自転車競技部

自転車競技部は「日本の自転車競技をメジャーにし、未来の自転車界を支える人材を育成する」ことを目標に活動しています。創部26年間で積み上げた全国優勝は335回、全国チャンピオン61人を輩出したほか、日本記録樹立は8名で42回、これまで50名以上の日本代表選手を輩出し、今年に延びた東京五輪へもOBの橋本英也先輩が日本代表に選ばれるなど、関係者から計5名のオリンピックを誕生させています。チームが2002年に開始した日本の大学スポーツ界初となるスポンサー導入は、今では大学スポーツ界の常識となっていますが、チームへは現在もメルセデス・ベンツ(ドイツ/車)やキャンデール(USA/自転車)などのグローバル企業から身近な地元企業まで、たくさんの方々の支援が寄せられています。一方で地域密着をととても大切にしており、1000名近くが参加するツール大隅サイクリング大会を始め、年間を通じ多くのイベントにボランティア協力することで、社会への貢献活動も積極的に進めています。2019年には大学近くの廃校跡(ユクサおおすみ海の学校)の体育館を借用して、トレーニングに加え市民の皆様と交流できる活動拠点「リンジンベース」を創り、社会貢献に繋がる新たな活動も始めました。今後とも「市民に愛されるチーム」を目指す私たちへの応援をよろしくお願いいたします。

SUGO HAKU

【厚盛デジタル加飾システム】 -KIRAMEKI-

印刷物へ新たな付加価値を
厚盛クリアニスの上に箔を加飾することで、盛り上がった立体的な箔加工が可能になりました。従来の箔押しと一線を画したグラマラス感のある仕上がりを。

人間印刷に際する

株式会社新生社印刷

鹿児島県鹿屋市礼元1丁目22-34

TEL 0994-43-2238

「視覚」「触覚」が「記憶」に残る

パッケージ・パンフレット・ポスターetcに、ご活用いただけます。

厚盛デジタル加飾により盛り上がった箔加工

厚盛クリアニスによるリアルなテクスチャ感

お気軽にお問い合わせください。

URL <https://www.shinsei-p.co.jp> E-MAIL kan@shinsei-p.co.jp

心にしみる...

鹿児島県鹿屋市

小 鹿

小 鹿 酒 造 株 式 有 限 公 司

小 鹿 酒 造 株 式 有 限 公 司

鹿児島県鹿屋市香平町上名7312番地

TEL 0994-58-7171 FAX 0994-58-8363

<http://www.shochu-kojika.jp>

お酒は20歳を過ぎてから。

伊藤龍生さん(スポーツ総合課程4年) アスルクラロ沼津に加入内定



◇氏名: 伊藤 龍生 (いとう・りゅうせい)
 ◇出身: 兵庫県
 ◇出身チーム: 米子北高校
 ◇ポジション: FW
 ◇加入クラブ: アスルクラロ沼津 (J3)

鹿屋体育大学サッカー部所属の伊藤龍生さん(スポーツ総合課程4年、米子北高等学校・鳥取)が、Jリーグのアスルクラロ沼津へ2021シーズンより加入することが内定しました。兵庫県丹波市出身の伊藤さんは、抜群の得点感覚と優れた身体能力を備えたフォワードで、米子北高校から同大学へ入学、サッカー部では1年時より公式戦に出場し、2019年の天皇杯2回戦では名古屋グランパス戦でゴールを決めて勝利に導くなど、大きく貢献しました。個人としてもU19全日本大学選抜WESTに選ばれるなど、注目のプレイヤーです。

今回の加入について伊藤さんは「プロサッカー選手になることができ、とてもうれしいです。調子に乗らず謙虚に、今までお世話になったすべての方々への感謝を忘れず、恩返しできるように頑張ります。これから、アスルクラロ沼津のために泥臭く、がむしゃらに走り、とにかく得点にこだわってチームが勝てるように全力でプレーします。沼津サポーターの皆さんよろしくお願ひします」と引き締まった表情で内定の喜びと抱負を述べました。小学校4年生からサッカーを始め、伊藤さんは、「プロを目指さないのであれば習わせない」と親に言われて幼いころから覚悟を決めてサッカーを続けてきただけに、父親の生まれ故郷であり、祖父母が暮らす静岡県での加入内定の喜びはひとしおだったようです。

すでに現地でアスルクラロ沼津の練習に参加して楽しさの中にも厳しさを感じているという伊藤さんは、鹿屋体育大学時代を「高校生のときは1年生の時から日本高校選抜欧州遠征でオランダやドイツに行かせてもらっていたので、いつの間にか天狗になっていたんだと思う。大学では試合に出られないことも多く、自分の力を思い知らされたし、本当にプロになれるのか不安になったり、大きな壁にぶち当たった苦しい4年間で、でも後半、監督の塩川先生が言われていることや考え方が少しずつ理解できるようになって、だからJリーガーになれたと思うし、塩川先生には感謝しています」と振り返りました。

米子北高校サッカー部の部訓に「感謝・謙虚・我慢・気づく」という4つの言葉があり、謙虚と我慢の2つが苦手ですが、調子に乗って高校時代はよく監督に怒られていたという伊藤さん。今ではこれらの言葉が大好きになり、自分に言い聞かせるようなつもりで加入の際のコメントにも盛り込んでいるそうです。「ここからがまたスタートだという覚悟ができたので、アスルクラロ沼津でJリーガーとして謙虚にまじめにおこらざるやうにしたい」と決意を新たにしました。

同大学からのJリーガー輩出は伊藤さんで通算42人目となります。

はじめまして



施設課 外間 豪

令和3年1月1日付けで技術職員として採用され、施設課整備係(電気担当)に配属されました。出身は長崎県の佐世保市で、高校まで同県内に過ごし、大学進学で上京し、電気電子工学部を卒業しました。卒業後、民間の企業に数社勤務し、今年で社会人7年目となります。民間企業においては、プラントの設計・施工・試運転・維持管理など設備に関する業務に取り組みしてきました。

電気は、研究や授業、事務業務などの活動をすすめるために必要不可欠なものであり、絶対に途切れさせてはいけないうので、一方で、誤った扱いをしてしまうと、機械や、場合によっては人命にすら影響を及ぼしてしまいかねない危険な一面もあります。

先生方や学生、職員の皆様が安心して電気を利用できるように、日々の業務に実直に取り組むたいと考えています。どうぞよろしくお願ひいたします。



照内明良さん(修士課程2年) 日本登山医学会で奨励賞を受賞!

昨年10月3・4日にオンラインで開催された第40回日本登山医学会学術集会において、鹿屋体育大学修士課程(体育学・研究科体育学専攻)2年の照内明良さんが奨励賞を受賞しました。この賞は、前年に「登山医学」およびその他の学術誌に発表された登山医学に関する論文および著書を対象として、優れた業績をあげた会員1名に、対し授与されるもので、2001年に山本正嘉教授が受賞してから本学関係者が数々受賞しております。

照内さんの研究は、「登高速度のわかる機器を用いて体力相応の歩行ペースを自主学習する試み」と題し、体力相応の歩行ペースで登山すること、心臓突然死を起すリスクを軽減すること、寄与できる可能性があると示したもので、指導者が一方的に教えるのではなく登山者自身が学ぶことを大切にして計画した研究で、山岳遭難対策の一助となることが期待されています。

賞状を手にした照内さんは、学長報告で「今まで関わってくださった方々に受賞を報告し、喜んでもらえたことがとてもうれしかったです。今後は登山ガイドの資格も取って研究などに生かしたいです」と意欲をみせました。松下雅雄学長は「方法を示すのではなく、登山者自身に考えさせることで指導者と登山者のトラブルも減



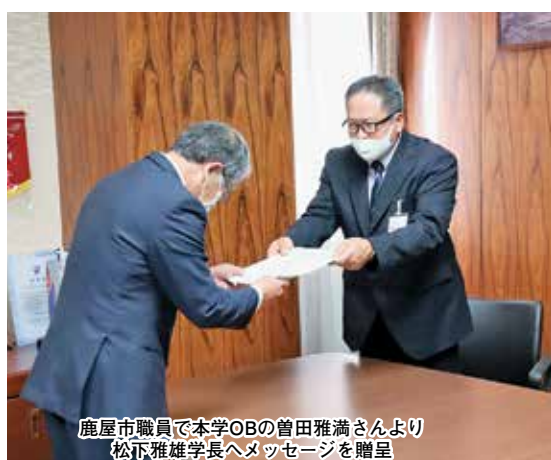
左から指導教員の山本教授、照内さん、松下学長

らすことができると思う。このような研究が進めば事故が減り、スポーツを楽しむ人がより増えると思うので、ぜひ頑張ってください」と激励しました。

コロナ禍の学生へ食料品・日用品・支援金等をご寄贈いただきました

鹿屋体育大学での新型コロナウイルス感染症クラスター発生に伴い、自宅(寮)待機となっている学生たちに心温まるご支援が届きました。自粛生活中の学生に温かい物を食べてもらいたい、またアルバイト収入が減り生活状況が苦しくなっている学生もおり、日頃は鹿屋市の地域活性化にもつながっている学生の支援をしたいと、下記の皆様より多くの支援金・食料品・日用品等をご寄贈いただきました。

12月25日には野菜不足を気遣ったKAGO食と地元企業からの一人鍋が届きました。また、1月4日には錦江町からコロナ禍での日々の疲れを癒してほしいと、代謝や免疫力アップのほかりラックス効果もあるお茶のご寄贈がありました。ご寄贈いただきました皆様、誠にありがとうございました。



鹿屋市職員で本学OBの曾田雅満さんより松正雅雄学長へメッセージを贈呈

【寄贈いただいた皆様】(3月2日時点)

- 鹿屋ライオンズクラブ 様
- 鹿屋七日会 様
- 鹿屋市役所職員有志の皆様
- 株式会社 KAGO食スポーツ 様
- 協賛: 株式会社 オキス 様
- 株式会社 イズミダ 様
- 坪水醸造株式会社 様
- 鹿屋アスリート食堂 様
- 錦江町大根占銘茶深緑会 様
- 田代茶業青年部 縁香会 様
- 有限会社ファーストエイト 様(保護者関係: 横浜市)



KAGO食から届いたレンジで調理できる一人鍋



錦江町から届いた大根占茶、田代茶など特産のお茶のセット

闘いの記録 12月~1月

- 【女子バレーボール】
- 第67回秩父宮妃賜杯全日本バレーボール大学女子選手権大会 (11/30~12/6 東京/大田区総合体育館他)
- ▽女子 団体 1位 鹿屋体育大学
- 【体操競技】
- 第74回全日本体操種目別選手権 (12/10~13 群馬/高崎アリーナ)
- ▽男子 種目別 あん馬 1位 市口 大和
 種目別 つり輪 4位 金田 希一
 種目別 鉄棒 8位 杉野 正亮
- 【なぎなた】
- 第45回西日本学生なぎなた選手権大会 オンライン大会 (11/15~12/5 オンライン)
- ▽女子 演技競技(有段の部) 1位 春山、上間